

うちとこのぎかい

6月議会

NO. 197

2025. 8. 1

めいわ議会だより



半世紀つづく下御糸小学校の
みこしまつり

CONTENTS

P. 2 委員会レポート

P. 5 一般質問

P. 8 その後どうなった

P. 10 キラッと輝く人たち



総務産業常任委員会

6/5 6/20

主な内容 ● これからのまちづくりの取組について

- まちづくり戦略課から、総合計画に関する町民アンケートの結果報告がありました。委員から、町民の声をどのように施策へ反映させるかが重要との意見も出されました。また、ふるさと納税寄附金の状況や物価高騰対応の地方創生臨時交付金の追加配分等についても報告がありました。



- 総務課から、法改正に伴う明和町職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部改正についての説明や、職員採用試験の実施状況について報告がありました。
- 防災安全課から、公共交通計画の適正化に関し、町民バスの路線変更やライドシェアの導入等について報告が行われました。
- 税務課から、罹災証明書等交付要綱の制定に関する報告がありました。
- 産業振興課からは、水産物の漁獲量や今後のイベント予定について報告がありました。委員からは、町がイベントにより積極的に関与すべきとの意見が出されました。
- 建設課からは、県営大仏山公園事業をはじめとする国・県の事業進捗について説明があり、委員から大仏山公園への進入路整備に関する意見も出されました。
- 上下水道課からは、下水道料金改定に関する説明があり、合理化計画についての質疑が行われ、下水道事業の未完了区域もあるため、引き続き事業を進めていく方針が示されました。
- 6月20日、上下水道課より雨水排水基本方針検討業務委託について、説明がありました。

教育厚生常任委員会

6/9 7/3

主な内容 ● 体育施設の運営や指定管理について丁寧な説明を要望

- 教育課から、小中学校学習用端末購入請負契約について、斎宮小学校、明星小学校への災害時の活用も視野に入れた浄水機購入について、令和8年度町民バスルート変更に伴う平尾・東野通学について、旧修正小学校での松阪地区教育支援センターさくら教室について、8月5日に行われる「これからの明和の教育シンポジウム」開催について、契約満了を迎える体育施設の指定管理の契約に関して説明がありました。体育施設運営や指定管理については、経緯・今後の事業計画を改めて委員会を開き詳しく説明するよう要望しました。
- 斎宮跡・文化観光課から、斎宮のハナショウブ群落スケッチフェスタについて、次期観光振興計画などについて説明がありました。委員からは、ハナショウブ群落の水の維持管理を改善するよう要望しました。観光振興計画については、部会のメンバー、課題など具体的な説明を要望しました。

- こども課からは、みえ子ども・子育て応援総合補助金について説明がありました。おたふくかぜ任意予防接種の助成金が3,000円にアップしたと説明がありました。
- 福祉総合支援課からは、福祉医療費窓口負担無料化を15歳まで拡大することについて説明がありました。委員からは、18歳までの拡大と他府県での受診にも窓口無料化ができるよう要望しました。また、低所得者支援及び定額減税補足給付金(不足額給付)について説明がありました。
- まちづくり戦略課からは、斎宮跡保存事業特別会計及び住宅新築資金等貸付事業特別会計の廃止について、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加について説明がありました。斎宮跡特別会計設置の経緯、廃止理由の説明がありました。7月3日、教育課より体育施設の運営や指定管理について、詳しい説明がありました。

小学校建設等調査特別委員会

6/13

主な内容 ● 小学校建設の進捗状況等について

- 小学校区編制推進室から、「第1期再編小学校等整備事業について」「運営準備関係について」「跡地利用について」の3点につき、説明・報告を受け、質疑意見、要望を行いました。
- 整備事業については、工事は概ね順調に進んでおり、現在は内装工事及び外構工事が主になってきていること、今後の本格的な外構工事のため、7月には現場事務所を昨年度学校用地として購入したグラウンド西側の土地に移転すること、進捗状況は引き続き町のホームページ及びインスタグラムに掲載していくことなどの説明がありました。委員からは、屋上に設置する太陽光パネルと空調設備の室外機との距離は適正かの確認などの意見がありました。
- 運営準備については、明和北小学校の校章デザインが最終決定したこと（広報めいわ8月号などに掲載）、スクールバスの運行业務委託の事業者選定は7月中に決定予定であること、水泳指導

業務委託の事業者選定を7月から開始していくこと、12月から1月に全保護者を対象とした明和北小学校説明会を4小学校で行うことなどについて説明がありました。委員からは、保護者の意見を聞き、スクールバスの乗降管理システムの導入など保護者の不安を少しでも取り除くよう要望しました。

- 跡地利用については、第2回公募（令和7年4月公募開始）の申込者の審査の結果、旧なりひら保育所の優先交渉権者を決定したこと、第3回公募を6月中に開始すること、第1回公募（令和6年8月公募開始）で優先交渉権者となった事業者が7月に地域説明会を実施すること（7月4日実施）などについて説明がありました。委員からは、施設の運用を事業者負担としている中で、中長期的な視点から周辺道路の改良を検討していくよう要望しました。

議会改革特別委員会

6/19

主な内容 ● ～明和町議会のこれからを見据えて～

令和7年6月19日、第13回議会改革特別委員会を開催し、明和町議会基本条例（案）についての詳細な協議が行われました。今回は、前回の協議を踏まえ、条文ごとに議員間で共通認識を持つことを目的に話し合いが進められました。

まず、「合意形成」や「委員会の公開」など表現の妥当性が議論され、「原則公開」や既存表現の維持など、実務面を考慮した対応を確認しました。次に、議会の情報発信について、一般質問の様子をYouTubeで配信する方向で検討が進み、今後は明和町HP・町議会ページの情報充実やSNSとの連携にも力を入れていくことが共有されました。委員からは、「委員会の様子もお知らせしたい」との声があり、今後の配信対象の拡充も検討される見込みです。

また、「広報活動を通じて町民の声を把握・反映する」「複数の媒体で情報を届ける」といった姿勢を改めて確認し、町民との意見交換の場を広げる

こと、そして「議会モニター制度」導入の可能性についても、他自治体の事例を視察・研究していくこととなりました。

さらに、「自由で公平な議論の場づくり」や「基本条例に関する研修の実施」など、議員の資質向上や議会運営の質的強化についても意識を共有。条例制定にあたっては、定期的な検証や見直しの仕組みを設け、持続的な改革を図る方針です。

議会運営の見直しについても新たな資料を基に、本会議から委員会への流れや、全員協議会（全協）の役割を明確にすることで、より制度的な運営を目指す意見が出されました。併せて、ペーパーレス化や政務活動費の在り方についても議論が続けられています。

町民の皆様に、より開かれたわかりやすい議会を目指し、今後も一歩ずつ改革を進めてまいります。

令和7年第2回定例会が、6月16日から6月20日までの会期で開かれ、提案された議案は原案のとおり可決しました。それぞれの結果は下記の通りです。

議 決 結 果 一 覧 表

議 案 番 号	件 名	結 果
発議第1号	性犯罪の再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書	可 決
発議第2号	地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書	可 決
発議第3号	米価の抑制及び米の安定供給を求める意見書	可 決
発議第4号	米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書	可 決
同意第16号	教育委員会委員の任命同意について【野口和宏氏】	同 意
承認第1号	専決処分した事件の承認について 明和町税条例の一部を改正する条例	承 認
承認第2号	専決処分した事件の承認について 明和町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	承 認
報告第1号	令和6年度明和町一般会計繰越明許費繰越計算書	報 告
報告第2号	令和6年度明和町一般会計継続費繰越計算書	報 告
報告第3号	令和6年度明和町一般会計事故繰越し繰越計算書	報 告
報告第4号	令和6年度明和町斎宮跡保存事業特別会計繰越明許費繰越計算書	報 告
報告第5号	令和6年度明和町水道事業会計予算繰越計算書	報 告
報告第6号	令和6年度明和町下水道事業会計予算繰越計算書	報 告
議案第38号	松阪地区広域消防組合規約の変更に関する協議について	可 決
議案第39号	松阪地区広域衛生組合規約の変更に関する協議について	可 決
議案第40号	明和町監査委員条例の一部を改正する条例	可 決
議案第41号	明和町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第42号	明和町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第43号	明和町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可 決
議案第44号	明和町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可 決
議案第45号	明和町農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第46号	明和町公共下水道条例の一部を改正する条例	可 決
議案第47号	令和7年度 教総-12 学校運営費事業 小中学校学習用端末購入請負契約	可 決
議案第48号	令和7年度明和町一般会計補正予算（第1号）	可 決
議案第49号	令和7年度 教総-8 学校運営費事業 各小中学校大型気化式冷風機備品購入 請負契約	可 決
議案第50号	令和7年度 教総-10 学校運営費事業 斎宮・明星小学校給食室炊飯設備備品購入 請負契約	可 決
議案第51号	令和7年度 小編-1 小学校区編制等事業 明和北小学校スクールバス（マイクロバス）購入 請負契約	可 決
議案第52号	令和7年度 小編-2 小学校区編制等事業 明和北小学校スクールバス（中型バス）購入 請負契約	可 決
議案第53号	令和7年度 小編-3 小学校区編制等事業 明和北小学校等什器備品購入 請負契約	可 決
議案第54号	令和7年度 小編-4 小学校区編制等事業 ささふえこども園保育用備品購入 請負契約	可 決
議案第55号	令和7年度 小編-5 小学校区編制等事業 ささふえこども園保育用備品（三重県産材製）購入 請負契約	可 決

各 議 員 の 賛 否

賛否の分かれた議案のみの表示です。

議員名	江	田	北	中	瀬	綿	奥	新	松	山	宇	高	下	辻
議案番号	京子	邊ひとみ	岡 泰	井 啓悟	田 萌	民 和子	山 幸洋	開 晶子	本 忍	本 章	田 雅行	橋 浩司	井 清史	井 成人
議案第45号	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第46号	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長 辻井成人は採決に加わりません。ただし、可否同数の場合は議長採決。「○」は賛成、「×」は反対。

一般質問

6月議会の一般質問は、6月16日に行われました。

質問議員

高橋 浩司 議員	5 ページ
江 京子 議員	6 ページ
田邊ひとみ 議員	6 ページ
山本 章 議員	7 ページ
新開 晶子 議員	7 ページ

- 一般質問の様子は、令和7年8月8日・9日・10日に、松阪ケーブルテレビ明和町行政チャンネルでご覧いただけます。
- 明和町ホームページの下部「町議会」をクリックしていただくと、議会だよりのバックナンバーがご覧いただけます。
- 小林農産ふるさと会館・役場閲覧室などに備え付けの議事録もご覧ください。



スクロール



Q 町の循環型社会づくりの取り組みについて

A 資源循環の仕組みづくりから検討を進める



高橋浩司 議員

質 問 刈り草と家畜排泄物を混合して堆肥化し、CO₂削減や悪臭・水質汚染の抑制を図り、持続可能な循環型社会への推進を要望する。

答 え ご提案いただいた伊勢広域環境組合を活用した広域的な堆肥化施設の整備については、施設用地の確保や財政的な負担、関係自治体間での役割分担や合意形成などの課題がある。また、草木と畜産廃棄物との組み合わせによる堆肥化については、一般廃棄物である草木類と産業廃棄物である家畜排せつ物を混合して処理することが法的に難しい部分もあり、実現には障壁があると考えている。まずは町内でできる資源循環の仕組みづくり等から段階的に検討を進め、必要に応じて近隣自治体と連携を図っていく。今後も循環型社会の実現に向けた様々な取り組みを通じて、持続可能な地域社会の構築を目指していく。

Q 町の老朽化大規模建物の対応について

A 地域住民の安心・安全を第一に対応する

質 問 有爾中地区の閉業後、長年放置されているホテルは、老朽化による建材の飛散など事故の危険性や、窃盗などの犯罪、不審者の侵入など、地域住民の治安を著しく損ねている。早急で責任ある対応・対策を町に強く求める。

答 え 当該施設は私有地で、その管理や安全対策は原則として所有者の責任に委ねられるものであり、直接的に介入することには一定の法的な限界がある。しかしながら、地域住民の皆様より不安やご意見等、多数寄せられており、町としても看過できない課題であると受け止めている。そのため、施設周辺の状況把握や、必要に応じた警察・関係機関との連携を進めている。引き続き、施設の関係者と丁寧な対話と協議により、ご協力を得られるよう働きかけを続けていく。地域の皆様の安心・安全を第一に対応していく。

Q 農地の大規模化に対する町の考えは

A 地域計画により集約化に取り組む



江 京子 議員

質 問 ①明和町の圃場整備の田の大きさは3反が多く、農業者の作業性を考えると大規模化が望まれる。圃場の再整備、畦畔除去への町の考えは。②後継者不足や親族の権利放棄による耕作放棄地に対する町の取り組みは。③天候に左右されやすい農業は労働に見合う報酬が得られないのが現実。明和町の主幹産業であり、ふるさと納税返礼品のトップを占める大切な農業だが、明和町の今後の農業への考えは。

答 え ①圃場の再整備に関しては、農業者や土地改良区の意向も踏まえての検討が必要であり、町が早期の実施を目指す考えはない。畦畔除去については、認定農業者による農地の集約が効果的であると考えられることから、

地域計画をもとに今後の取り組みを進めていきたい。②権利放棄を含む相続人不明農地の課題は、町としても認識しており、特に相続放棄されたと言われる農地に関しては、中間管理機構を通じた担い手への農地利用集積や賦課金の取扱い等について県へ相談を行っているが、法令に則った確認が必要との見解により、現在までに明確な回答が得られていない状況。今後もこのような土地が増えてくる懸念も含め、早期の結論を得られるよう県への確認要請を行う。③第1次産業は気象条件や市場変動の影響を受けやすく、収益の安定が難しい産業である。ご指摘のとおり、明和町におけるふるさと納税の返礼品のほとんどは、米をはじめとする第1次産業の品目であることから、農業に魅力を感じていただけること、持続可能な農業を考えていく上で、農家の適正な収入確保と営農環境の改善が重要だと考える。地域の声を集約し、国・県に対して現場の実情に即した制度設計を求めていく。また、担い手支援や農地の集約化に向けた支援に引き続き取り組んでいく。

Q 手書きとICTのハイブリッド教育の実践は

A それぞれの強みを生かして組み合わせる



田邊ひとみ 議員

質 問 ①教育のデジタル化が教育本来の目的に沿って行われているかを問う。②デジタルとアナログのバランス、書く力を育てるハイブリッド教育や情報モラル教育の現状は。

答 え ①教育のデジタル化は、教育の本来の目的に沿って行われており、こどもたちの未来を切り拓くための重要な施策であると考えている。②紙の教科書や手書き学習といったアナログ的な手法については、学習の定着にメリットがあると認識している。ICTとアナログのバランスを取った教育を推進し、どちらかに偏ることなく、それぞれの強みを生かして、学習状況等に応じて適切に組み合わせることで、最大の効果を発揮できると考える。情報モラル教育については、児童生徒の発達段階に合わせて、道徳や総合的な学習の時間など様々な教育活動を通じて実施している。

Q 公共施設、学校への生理用品の配備は

A 役場・社協窓口、各学校の保健室で配布

質 問 ①性別による固定的な人権軽視等の課題を解決するための町の考え方や取り組みを問う。②公共施設や学校のトイレに生理用品を配備することに関する方向性を問う。

答 え ①地域でジェンダー平等や人権尊重の意識を浸透させるためには、学校教育、社会教育両面での取り組みが必要だと認識している。学校教育では、幼い頃からジェンダーフリー教育を導入し、固定観念をなくすための教材やカリキュラムを整備し、社会教育では、地域住民向けの啓発活動として講演会などを開催するなど、地域全体でジェンダー平等や人権尊重の意識が浸透するよう進めている。②役場窓口と町社会福祉協議会で無料配布を行っている。また、各学校の保健室にも常備している。対面での生理用品の配布を通じて、個々の抱える経済的な問題や、その他の関連する課題を見つけ、解決に繋げていきたい。

Q 指導主事など 人的体制の改善は

A 来年度は指導主事を
2名体制に戻したい



山本 草 議員

質 問 ①全児童生徒に配布された学習用端末の利活用の実態と、家庭のインターネット環境のサポート体制、町の支援策は。②指導主事やICT支援員などの人的体制が十分でない点を踏まえ、町としてどのように改善・強化していく考えか。③新小学校でこどもたちのどのような資質・能力を育みたいか。

答 え ①調べ学習、協働学習、プログラミング学習、ドリル学習、家庭での予習・復習など授業内外で日常的に端末利用が行われており、端末の利用を通じて、情報収集・整理・分析・表現といった情報活用能力の育成が図られている。家庭のインターネット環境のサポート体制については、家庭での通信環境の整備状況

に差があるため、全ての児童生徒が等しく端末を活用できるよう、小学校入学時に家庭での通信環境調査を実施し、インターネット環境がない場合は、教育委員会のモバイルルーターを貸し出しする。②指導主事の配置については、昨年度は2名体制となるよう体制整備をしてきたが、今年度からは一時的に減員する決断をした。北小学校の開校に合わせて小中一貫教育を本格的に開始する予定であることから来年度は再度2名体制に戻し、町全体の教育の向上に努めたい。ICT支援員については町の理想として、各校に配置したいと考えるが、学校現場のニーズを確認し、今後も無理なく継続していただける体制の構築に努める。③明和北小学校では、「自ら学び、心豊かにたくましく、未来を拓くこどもの育成」を学校目標として考えている。具体的には、進んで学び表現する子、心豊かで思いやりのある子、健やかでたくましい子を目指すこども像として考えている。これらの資質・能力を育むために、共に学ぶ喜びや過ごす楽しさを感じられる環境を整え、一人ひとりが輝くことのできる学校を目指す。

Q 産業観光への 推進活動は

A 関係団体に趣旨等を
説明し、意向を伺う



新開晶子 議員

質 問 ①地方創生10年がたち、明和町の人口減少歯止めへの取組み、第6次明和町総合計画に関する町民アンケート分析結果から地域活性化と魅力発信への取組みは。②産業観光への推進活動は。③ボランティア、有償ボランティア団体への町の考えは。

答 え ①人口については、自然減、社会減をしており、町の将来の持続可能性にとって大きな課題と認識している。町民の健康管理や健康意識を高める施策や、津波避難タワーの建設により、10年前に比べ「健康診断・相談」、「健康づくり」、「地震・津波災害対策」の満足度が向上した。②三重県指定伝統工芸品である『御糸織』および『擬革紙』については事前予約にて工場見学等の受入れをしていただいている。両施設に対し産業観光の趣旨や意義などを説明し、意向を伺う。③それぞれの分野を

所管する担当課や社会福祉協議会を通じて、ボランティアの方々と連携を図り、地域の活性化に努めていく。

Q 英語教育の向上・充実への取組みは

A 小中連携して授業を実施

質 問 ①子どもたちへの英語教育の向上、充実についての取組みは。②ALTの活用、継続的な雇用は。③町として国際交流に取組む考えは。

答 え ①英語教育のさらなる質の向上を図るため、さまざまな取り組みを行っている。具体的には、教員の指導力強化と小中連携を深めるために、小中合同公開授業研修を実施したり、小学6年生と中学1年生の交流授業をオンラインで実施し、小学生が英語で中学生活についてインタビューし、中学生が答えるというやりとりを全ての小学校で行っている。②本人が明和町で働き続けたいという希望があれば、会計年度任用職員での雇用は考えられる。③友好都市や姉妹都市ではなく、国際交流の新たな取り組みや制度化の計画はないが、必要性や具体的なメリットなどを勘案して、柔軟に考えたい。

その後どうなった？



シリーズ
第104回

このページは、1年前の一般質問がその後どうなったかを皆様にお知らせするものです。

Q

一般質問の主な内容

A

Qに対する答弁の内容

どうなった

現在の取組状況や結果など



令和6年 6月定例会より

Q

ジェンダー平等の視点からの災害対策、避難所運営を求める。

(田邊ひとみ議員)

A

災害対策に女性の意見を取り入れ、避難所運営マニュアルに反映していく。

どうなった

女性を含め多様な視点をもった避難所運営実現のために実践的な訓練を実施中。今後、その結果を活かしマニュアルを見直していく。

Q

放課後児童クラブが現委託先になり苦情件数が増加している。解決に向けた対策は。

(中井啓悟議員)

A

委託先の変更により手続きの行き違いがあり増加した。保護者に丁寧に説明するよう指導している。

どうなった

委託先に指導を行い、保護者の皆様の声に耳を傾け、丁寧に説明することで苦情件数は徐々に減少傾向にある。

Q

企業誘致による「税収・雇用の確保」、町内インフラ事業所支援として「町発注工事の平準化」について問う。

(高橋浩司議員)

A

企業誘致は重要政策として取り組む。工事の平準化も継続し、インフラ事業所支援を一層進める。

どうなった

継続的な企業訪問を実施し企業誘致に努めている。町の公共工事の平準化のため、前倒し予算化と予算の繰越を実施している。

Q

県道から町道に相互移管した旧大淀港上野線大淀地内の側溝蓋整備を求める。（下井清史議員）

A

県道のとときから道路側溝蓋整備の要望は伺っている。今後、計画検討をしていきたい。

こうなった

令和7年度より事業着手することになり、本事業の完了には複数年かかる見込みである。

Q

災害用井戸の整備推進を求める。（北岡泰議員）

A

災害用井戸については活用できる井戸の把握を早急に進め、情報の共有化・周知方法について検討する。

こうなった

上下水道課と協力して使用可能な井戸の調査及びデータベース化を進め、災害時の活用に向けた情報共有や周知方法を検討している。

Q

学校施設等の跡地利用について、観光資源として活用していく考えは。（山本章議員）

A

観光の面も含めてあらゆる可能性を模索し、地域の活性化につながるよう努める。

こうなった

跡地利活用事業者の公募を実施し、複数の施設に申込みがあった。現在、優先交渉権者となった事業者と協議を行っている。

Q

住民の皆さまが感じるウェルビーイング（幸福度）向上に繋がる今後の取組は。（新開晶子議員）

A

様々な施策を通して、ウェルビーイング向上に繋がる取組を検討し、実施していく。

こうなった

互いを尊重し、支え合う心を育むために、一人ひとりの幸せにつながるインクルーシブ授業を外部講師により、小学校で実施した。

キラッと輝く人たち

「伝統を守りつつ 新たな取り組みに挑戦！」

山大淀祭典委員会

山大淀祭典委員会の歴史は浅く、まだ設立3年程しか経っていません。東区、三世古、山大淀と三車ある祇園祭ですが、山大淀だけは祭典委員会が無く、自治会が祇園祭の運営、運行を全て担っていました。一年任期で交代する自治会役員が全ての準備をするのは非常に大変で、山車の運行に関しては、祭典委員会で行うようにと有志が集まり結成されました。

メンバーは毎年夏になると年齢関係無く祇園に熱くなる、20代～60代の約20人です。人口減少で今後の祇園祭の継続が危ぶまれる中、伝統を守りつつ、知恵を出し合い現代の事情に合う祭りのやり方など、新たな取り組みに挑戦しています。



「来年の祇園祭、一緒に盛り上げましょう」

今後も祇園祭を継続していく為には、明和町民の皆さまの協力が不可欠と考えております。次の祇園祭では是非一緒に山車の綱を曳き、大いに盛り上げて頂けるよう宜しくお願い致します。

山大淀祭典委員長 中川 尚
山大淀祭典委員会一同

編集委員より

連日のように、体温を越すような猛暑日が続いています。今までに考えられないような暑さになっています。「もう少し頑張ろう」を、「一休みしよう」に変えて、自分の命を守る行動をお願いします。

明和町議会では、議会改革に取り組んでいます。皆様から、優しくて厳しいご意見をたく

さん頂いています。真摯に受け止めさせて頂き、ご意見を取り入れながら進めてまいりたいと思います。

さて、令和8年4月には明和北小学校が開校されます。子どもたちのたくさんの笑顔があふれる小学校になるように、明和町議会としても取り組んでいきたいと思っています。

これからも、めいわ議会だよりをご愛読頂きますようお願い申し上げます。



議会懇談会を開催します！

日時 令和7年9月26日(金) 19時～
場所 中央公民館
内容 議会改革アンケート結果の報告
ぜひ、ご参加ください

議会だより編集特別委員会

委員長：宇田 雅行 副委員長：瀬田 萌

委員：江 京子、田邊 ひとみ、綿民 和子、奥山 幸洋、新開 晶子、山本章

令和7年 第3回定例会
9月9日(火) 午前9時から

■一般質問は9日・10日を予定しています。
(変更の場合あり)

詳細は、議会事務局までお問い合わせください。